

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆25年度予算案、過去最大115.5兆円 税収も最高78.4兆円

・政府は2025年度予算案の一般会計総額を115.5兆円程度とする方向で最終調整に入った。当初予算案として2年ぶりに増加し、過去最大だった23年度の114.3兆円を上回る。税収も78.4兆円程度と6年連続で過去最高を更新する見通し。歳出面では医療、年金、介護など社会保障関係費が38.3兆円と過去最大を見込む。

◆日本の平均気温、2年連続で過去最高を更新 温暖化影響

・日本の平均気温が2年連続で過去最高を更新する見込みとなった。気象庁が発表した2024年の平均気温(11月までの速報値)は平年値よりも1.64度高く、1898年の統計開始以降最も高かった2023年(プラス1.29度)を大きく上回った。24年12月のデータを加えても、気象庁は「歴代最高気温となるのは確実」としている。

◆企業向けサービス価格、11月3.0%上昇 人件費転嫁継続

・日銀が発表した11月の企業向けサービス価格指数(2020年平均=100)は109.1と前年同月比で3.0%上昇。10月(2.9%上昇)から伸び率は0.1ポイント拡大し、8月(3.0%上昇)以来の高い伸び率となった。幅広い業種で人件費の価格への転嫁の動きが続いている。10月からの最低賃金引き上げの影響も徐々に始めている。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆ガソリン1年ぶり180円台に上昇 円安進行、原油安に逆行

・ガソリン価格が約1年ぶりに1リットル180円台まで上昇。原油の国際価格が下落しているのに、国内のガソリン価格が上がるのは対ドルでの円安が進行しているため。円安による負担分を補助金で埋めてきたが、縮小が始まり、価格に上昇圧力がかかっている。補助金自体が円安圧力を生み出しているとの指摘もある。

◆11月の工作機械受注、アジア向け26%増 米欧は低迷続く

・日本工作機械工業会(日工会)が発表した11月の工作機械受注総額(確報値)は前年同月比3%増の1193億円。2カ月連続でプラス。電気自動車関連の投資が底堅い中国が中心となるアジア向けは26%増。米欧向けは景気低迷やEV関連の投資の落ち込みで減少傾向が続いた。国内向けは27カ月ぶりのプラスだった。

◆上下水道耐震化に110億円 能登地震踏まえ―財務、国交両省

・加藤勝信財務相と中野洋昌国土交通相は2025年度予算編成の閣僚折衝で、能登半島地震の教訓から、上下水道の計画的な耐震化を進める自治体への財政支援を強化することで合意。取水施設などの耐震化に向けた補助制度を同年度予算案で創設。110億円を計上。施設の耐震化を支援する個別補助事業を創設。

《 注目商品 》

■コロナ、おひさまエコキュートに高圧力パワフル給湯タイプ

・「おひさまエコキュート」の高圧力パワフル給湯タイプを3月下旬から発売。新しい高圧力パワフル給湯タイプは、給湯圧力を従来機種の約1.5倍に向上し、2階や3階でも勢いよくシャワーを使うことができる。「ふろ洗浄システム」との連動運転で、「おそうじconnect」にも対応。



■城東テクノ リフォーム用窓枠カバー「PaReno窓枠カバー」専用部材

・手軽にチリ部の施工ができる専用部材。短いチリなど、折り返した部分の固着が難しかった現場などにも対応できるよう、部材のラインアップを拡充。従来の施工方法に加えて、現場状況に合わせて使い分けができる。窓枠に合わせてカットし窓枠に貼り付ける。



■トーザイクリエイト 古材の風合いをリアルに再現した不燃化粧パネル

・古材の風合いを再現した木目調不燃化粧板「ライクボード | バーンウッド」を発売。表面の特殊なエンボス加工により、バーン(北米の古い納屋)で使われていたようなパイン(ベイマツ)、シダー(ベイスギ)、ヘムロック(ベイツガ)の風合いをリアルに表現。

